

focus the KAKO

第73回 鹿児島高等学校卒業式

3月1日(火)、第73回鹿児島高等学校卒業式が挙行され、普通科289名、英数科102名、情報ビジネス科155名、計546名の3年生が卒業を迎えました。

保護者や職員の温かい拍手に迎えられて入場した後、各クラスの総代に卒業証書が授与されました。徳丸喜代志校長先生は式辞として、「3年前の入学式で、高校では全てが学びであることを伝えた。刻一刻と変化する情勢の中で、その時々で最適な「解」を出すことが必須であり、このプロセスを大切に、よく生きることが大切。制約がある中でもよく学び、努力した経験は必ず役に立ち力になってくれる。発達の意気のもと、盛り上がる力を見せ、花香の未来へ繋げてほしい」と述べられました。在校生を代表して、三弧会会長の古川美津季さん(2F6 吉野東中)が「制限があり、例年とは異なる時間を過ごす中でも、笑顔を絶やさず、後輩を引っ張るリーダーシップは私たちの憧れだった。先輩たちが築き上げてきた伝統をしっかり受け継いでいきたい」とはなむけの言葉を贈り、卒業生を代表して前三弧会会長の西村透子さん(3F1 城西中)が「信頼し、大切な仲間に出会えたことを誇りに思っている。たくさん制限がありながらも、ここまでできることができたのは支え合える友人がいたから。先生、家族への感謝の心をもちながら高校生活で学んだ全てを糧にし

て前進していく」と答辞を述べました。最後に、高校生活最後となる校歌を聴き、式は幕を下ろしました。

式の後には各クラスにて最後のホームルームが行われ、担任の先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。卒業生は3年間で振り返り、クラスメイトや先生、保護者の方への感謝を述べ、別れを惜しみつつも未来への期待に輝かしい表情を浮かべていました。普通科では校庭でバルーンリリースが行われ、色とりどりのバルーンが空高く昇っていく様子は卒業生の明るい未来を象徴しているかのようでした。前途洋々たる道に進まれる卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



focus the KAKO

第73回 卒業生 賞状授与式

2月28日(月)、本校体育館にて賞状授与式が挙行されました。鹿児島県知事賞、鹿児島市長賞、全国商業高等学校協会賞をはじめとする学業や部活動の功績を称える賞を授与しました。在校生も1年後、2年後の自分たちの姿を想像しながら、今後の学校生活を充実したものにできるような励んでくれることと思います。来年度もまた、多くの賞を授与できることを願っています。



focus the KAKO

クラスマッチ

3月10日(木)、11日(金)の2日間にわたってクラスマッチが行われました。各クラス白熱した戦いを繰り広げ、応援にも一段と力が入っていました。結果については「かけはし」に掲載してあります。





令和4年度大学選抜を振りかえる 受験生に必要な力

3月12日、令和4年度大学入試の国立大学後期試験が行われ、本校でも約30名の生徒が試験に臨みました。若干の大学を除いて、令和4年度大学入学選抜試験がフィナーレを迎え、1月の中旬から3月中旬にわたる、長い2カ月間の受験がようやく終了したことになります。

大学入学共通テスト施行2年目となる本年度、共通テストの思考力重視と情報量増加による難化は必至とされてきました。しかし、本試験終了後、各方面からの反応は予想をはるかに上回るものでした。特に数学への反響が大きく、受験生は自己採点の結果を受けて落胆していたようです。自己採点のみが出願の基準となる受験生は相当に頭を悩ませたはずですが、予備校各業者のデータでは、今回の難化は得点率の上位層から下位層までを含む全体的なもので、ボーダーラインの下降を示すものでした。受験生は一転して強気の出願に転じ、2次の個別試験への対応に切り替えました。

尚、最終的な大学入試センターからの報告によると、前年比較で平均点は数1Aで約20点、II Bも約15点減少し、単純計算で数学2000点満点中約35点減少しました。他の教科・科目でも生物・化学・日本史が難化しており、特に生物は約24点も減少しました。選択科目の組合せ次第ですが、受験産業の情報によれば、5教科総合得点で45から50点の減少がみられたようです。

話を戻しますと、約2か月間共通テスト対応に追われた受験生にとって、2次試験対応への切り替えはそう簡単なものではありません。私大個別試験の対応も必要であり、当然、勉強と並行して出願書類の作成や、旅券・宿泊先手配などもしなければなりません。さて、ここで必要とされる能力とは何でしょうか。高校生として最もつらく、苦しい時、一方でこれからの自分にとって最も大切な時にこそ、自分に負け

Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語。science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

ないために必要な力と何でしょうか。

近年「調整力」「マネジメント力」という言葉が聞かれます。調整・マネジメントは自身を状況に、場合によっては逆に状況を自身に合わせる、整えることであり、長期的な視点と短期的な視点を合わせ持ちます。受験には学力が必要ですが、設問の解答を得るためには問われているもの、すなわち、未知に対してそれらを導く条件と理論が必要で、その時、解答者は設問の条件に自信を合わせなければなりません。まさに、短期的・瞬間的な調整能力です。また、一方で、自身の学習能力を状況としてとらえ、鍛錬と習慣によって学習能力という状況を理想の自分に近づけてゆきます。これは、学習者が解答可能な能力を自分に合わせる行為です。この能力が中・長期的な調整能力となります。

まさに、受験という正念場で問われているのはこの力ではないでしょうか。当然、この力は生涯にわたって必要、かつ不可欠な生き残るための能力です。文部科学省は学力の三要素、学力観点の一つ「学習に対する態度」として、「自己調整力」という概念を示しています。そして、この能力開発のために必要なものは前提としての見通し、それは、「自分がどんな人間になりたいか」、そのための「どんな力が必要か」という問い、目標であり、3年間の高校生活という貴重な時間になるでしょう。

進学指導主任 西村浩一

令和4年入試 (学校推薦型公募制・総合型・一般)の主な結果

(延べ人数)

◆ 国立大学(学部).....49名(一般後期まで)

- ・東京学芸大学(教育)・筑波大学(人間)・岡山大学(歯)・広島大学(法・教育)
- ・鳥取大学(医)・愛媛大学(農)・福岡教育大学(教育)・九州大学(経済・農)
- ・九州工業大学(情報工)・長崎大学(経済)・大分大学(理工)・熊本大学(教育)
- ・鹿児島大学(医/医・工・理・農・水・法文・教育:計22名)・鹿屋体育大学(体育)
- ・九州歯科大学(歯)・熊本県立大学(総合管理)・宮崎公立大学(人文)

◆ 公立短期大学.....21名

- ・大分県立芸術文化短期大学(美術)
- ・鹿児島県立短期大学(文・商経・生活・商経2:計20名)

◆ 私立大(指定校推薦を除く).....309名

- ・法政大...2名・学習院大...1名・専修大...2名・駒沢大...2名・日本大...4名
- ・東洋大...3名・成蹊大...2名・金沢医科大学...1名・関西大...3名・立命館大...3名
- ・近畿大...2名・京都産業大...3名・関西外大...5名・川崎医科大学...2名
- ・産業医科大学...1名・西南学院大...20名・福岡大...38名(医/医1を含む)

など(3/16現在)

学びのヒント

父の口ぐせ

商業科 水口忠幸

私は幼い頃から、国家資格の取得に向け、一生懸命机に向かい勉強する父の背中を見て育ちました。

あの頃は今よりも情報が少ない時代でした。父は生活を豊かにするために、働きながら仕事に必要な資格取得に向け、日々頑張っていました。今の皆さんの年齢の時に戦争がはじまり、勉強どころではなかったそうです。終戦後、建築関係の仕事をする中で資格の必要性を感じ、時間がないうち、建築を基礎から学び始め、いろいろなテキストで勉強していました。

私の家は昔ながらの三世代の6人家族。父は、いつも穏やかで、私は一度も叱られたことがありませんでした。そんな父は、勉強はできる時にしろ、と、まるで父自身に言い聞かせるようによく私たち兄弟に語ってくれました。

父は兼業農家で仕事に加え農業をしながら、資格取得の勉強をしていました。田植えや稲刈りの忙しい時期には、職場から帰ってきて、休む間もなく耕運機に乗り、田んぼに向かっていました。昼間は建築会社で働いて、帰ってきてから農作業をする、休みのない生活を送っていた父。まとまった勉強時間を確保することが難しく、目標の資格を取得するまで何年も諦めずに、決して愚痴をこぼすこともなく、こつこつと勉強を続けていました。資格を取った後、父は、製図を仕上げるのに時間がかかり苦労したとぼつりと話してくれました。

私は大学で日商簿記の資格を取得しました。初めて学んだ簿記には専門用語が多く、試験に臨むため、理解できるまで何度も何度も繰り返し勉強しました。その時の私を支えてくれたのは、父の口ぐせであつた。勉強はできるうちにしろ、という言葉でした。

教員になってから、学生時代に取得した簿記や情報処理の資格に私は助けられました。どの検定の学習内容も時代の変化に伴い、変わってきています。かつて基本的なことやプログラミングが中心だった情報処理では現在、セキュリティなど分野が増え、当初学んだものと違うものになりつつあります。教えていく中でその変化を目的の当たりにし、勉強は資格を手に入れて終わりではなく、時代に乗り遅れないように学び続けていかないといけないと強く感じ、教師になった今も常に学ぶ姿勢でいます。そんな私の学びのヒントとして、鹿児島高校の皆さんにも私の父の言葉を贈ります。勉強はできる時にしろ。


部活動の活躍

卓球部

第49回全国高等学校選抜卓球大会 シングルス予選会

第1位 日高 想乃 咲 (2F7 志布志中)

3月18日〜21日 栃木県宇都宮市で行なわれる
 全国高等学校選抜卓球大会 シングルスに県代表として出場
 ★本校創部初



陸上競技部

3月12日〜13日

日本室内陸上競技選手権大会

〔U20の部 女子三段跳〕

全国第6位 片野坂 唯月 (2J1 高尾野中)

その他の活動

令和3年度第2回日本語検定

文部科学大臣賞

情報モラル啓発標語

優秀賞 切通 菜瑠 (2J4 桜島中)

優秀賞 藤迫 奈那 (1F7 垂水中央中)

第6回高校生よかアイデアコンテスト

審査員特別賞 チームあーず

- 小川 朱澄 (3F3 緑丘中)
- 浦田 向日葵 (3F3 谷山中)
- 田畑 紗和 (3F3 串木野中)
- 平石 海咲 (3F3 串木野中)
- 松下 理子 (3F3 坂元中)

かけはし / 3月号

クラスマッチお疲れ様でした。まだまだコロナの影響がある中ででの開催でしたが、楽しむことは出来たでしょうか、今月は見事上位に輝いたクラスを掲載します。

試合結果

男子サッカー

2年	1年
1位 1J4 2位 1J1 3位 1F8・1J3	1位 1J4 2位 1J1 3位 1F8・1J3
2位 2F6 3位 2J3・2F2	1位 1J4 2位 1J1 3位 1F8・1J3

男女オセロ

2年	1年
1位 1T1 2位 1F6 3位 1E2・1J3	1位 1T1 2位 1F6 3位 1E2・1J3
2位 2F7 3位 2F4・2J2	1位 1T1 2位 1F6 3位 1E2・1J3

混合バレー

2年	1年
1位 1J4 2位 2F3 3位 2F7・2E2	1位 1J4 2位 1F1 3位 1F2・1F3
1位 1J4 2位 2F3 3位 2F7・2E2	1位 1J4 2位 1F1 3位 1F2・1F3



女子バレー

2年	1年
1位 1F6 2位 1J1 3位 1J5・1E3	1位 1F6 2位 1J1 3位 1J5・1E3
1位 2F1 2位 2J4 3位 2J5・2E3	1位 1F6 2位 1J1 3位 1J5・1E3

混合バドミントン

2年	1年
1位 1J3 2位 1T1 3位 1F5・1E2	1位 1J3 2位 1T1 3位 1F5・1E2
1位 2J3 2位 2J1 3位 2F1・2F5	1位 1J3 2位 1T1 3位 1F5・1E2

総合優勝

2年	1年
1位 2J3 2位 2F5 3位 2F1・2E2	1位 1J4・1F6 2位 1J3・1J1 3位 1J3・1J1
1位 2J3 2位 2F5 3位 2F1・2E2	1位 1J4・1F6 2位 1J3・1J1 3位 1J3・1J1

4月の行事予定

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金		
振替休日 (5月14日午前分)	昭和の日	一日遠足 (1・2年生) 修学旅行帰着 (全学科)	三者面談 (40分×6限)	内科検診 / 駐輪場整理	三者面談 (40分×6限)	修学旅行 (3年生全) 28日		三者面談 (40分×6限)	三者面談 (40分×6限) / 内科検診 / 衣替え (中間服) 移行期間 (5月7日) / 未来探求	三者面談 (40分×6限) / 内科検診 / コールアウト / 図書特別貸し出し (5月2日)	学業奨励生指導 (1年) 14時15分 / 体育館 / 心臓・レントゲン (1年生) / 三者面談 (2)	三者面談 (40分×6限) / 学業奨励生指導 (2年) 14時15分 / 体育館 / 1年生体育服ジャージ販売 / 駐輪場整理	生活作文課題配布 / 学業奨励生指導 (3年) 15時25分 / 体育館	全校朝礼 (月曜校時) 頭髪服装検査 / classes 説明会 (1年生全)	下宿生指導 (2・3限) / P.T.A 常任委員選出	前期補習開始 (2・3年)	内科検診 / 未来探求	内科検診	P.T.A 常任委員投票用紙配布	実力テスト (3年生普英) / 1・2年生通常授業			交通安全指導強化月間 (〜22日)	対面式 (1年生オリエンテーション) / 動員生徒慰労の日 (9時30分)	入学式 (10時) / 新入生クラス集合写真撮影 / 保護者名簿 P.T.A クラス幹事投票用紙保護者 (1年生)	新入生出身別写真撮影 / P.T.A クラス幹事選出					春休み

離任される先生から鹿高のみなさんへ

～3月で離任される先生方にコメントをいただきました～

①鹿高での在職年数 ②鹿高での思い出 ③鹿高生へメッセージ



🌸 徳丸 喜代志先生(学校長)

①8年

②サッカー部・野球部の全校応援かな

③いつも機嫌がよくて、品格のある、
かっこいい鹿高生であってください。



🌸 吉元 聡子先生(英語科)

①4年7ヵ月

②たくさんの生徒と、毎日色々な事を話したこと。
本当はもっとたくさん話をしたかったです。

③今までどうもありがとうございました。短い高
校生活、1日1日を精一杯過ごして、良い思い出を
たくさん作って、笑顔で卒業してくださいね。



🌸 鎌田 英彦先生(数学科)

①10年

②授業や個別指導の教科指導に専念させてもら
いました。教えることの喜びや楽しさを満喫なが
ら、充実した10年を過ごすことができました。先生
方や関わった生徒たちに心から感謝します。

③本校を専願で入学する生徒も多くなり、赴任
した10年前と比べると生徒の皆さんは自信に
満ちており、部活動の活躍や進路実績も年々
向上しています。鹿高生であることに誇りをもち、
今後更なる飛躍を期待しています。



🌸 相良 正先生(事務長)

①3年

②体育祭や鹿高祭、入学式や卒業式、土曜コン
サートや定期演奏会…。挙げればきりがありません
が、3年前まで銀行員だった私にとっては、生徒の
皆さん、先生方や職員の皆さんと一緒にすごした
日々全てが思い出です。

③コロナ禍で色々な活動が制限されていますが、自
分の夢や希望を実現するために、がむしゃらに頑
張ってください。悩み苦しんでください。自分自身が
何者なのか考えてください。きっと「答え」はあなた
自身の心のなかに見えてくるはずです。